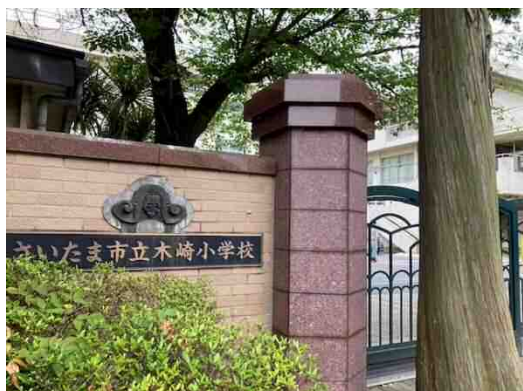


## 変化する社会を、笑顔で生きていくために

校長 石川 顕一



明治7年、隣接する長覚院に「領家村学校」として開校した本校は、今年で148年目を迎えました。正門に埋め込まれた鬼瓦は、明治時代の木造瓦葺校舎正面玄関の屋根に使われていたものです。

開校当時は、見沼代用水西縁の流れと見沼田圃を有する田園地帯でした。今では都市化が進み、さいたま新都心を展望する住宅街として発展し、人口も増えています。その過程では、文教都市を象徴する学校として、地域の方々から愛され、地域とともに歩んでまいりました。現在も、青少年育成木崎地区会、防犯ボランティアをはじめとする地域の様々なボランティア組織が充実しており、本校の教育活動を支えてくださっております。

この恵まれた環境の中、「人との関わり合いの中で学ぶ」という不易のものと、「目まぐるしく変化する社会への対応」という流行のものをバランスよく取り入れ、本校の教育目標「自ら学び 心豊かで たくましい児童の育成」を進めてまいります。そして、保護者や地域の方々への感謝の気持ちを持ち、「変化する社会を笑顔で生きていくための、自ら考え行動できる自律した個の確立」を目指してまいります。

今年度は、1年181名、2年165名、3年176名、4年164名、5年137名、6年166名、合計989名でスタートをしております。

### 学校の教育目標

自ら学び 心豊かで たくましい児童の育成  
～変化する社会を、笑顔で生きていくために～

目指す子どもの姿 自ら考え行動できる自律した個

身に付けさせたい力

- 自ら学び : 課題を解決する力  
多様な考えから新たな価値を創造する力
- 心豊かで : 互いに人格を尊重し合う態度  
社会で自らの役割と責任を果たす主権者意識
- たくましい : 困難から回復する強い力